

【国語科・小6・「自分の考えを発信しよう」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 思考に関わる語句を文章中で用いたり、文章の構成について理解したりすることができる。(1)カ
(思, 判, 表等) ①自分の考えの根拠となる資料を適切に引用することができる。B(1)エ
②文章全体の構成や書き表し方を見直して、文や文章を整えることができる。B(1)オ
(学びに向かう力, 等) 言葉がもつよさを意識して適切な言葉を用い、考えを伝え合おうとする。

ICT活用のポイント

- 文章を作成する段階からICTを活用することで、引用した資料と文章を同一画面上で比較できるようにする。
- グループで読み合う際に共有機能を使うことで、複数名が同時に閲覧・記入ができるようにする。

【つかむ】

単元の課題を共有し、学習の見通しをもつ。

めあて：友達の意見文を読んで推敲し合い、自分の意見文をより分かりやすくしよう。

【追求する】

友達の意見文を読み合い、助言し合う。

【まとめる】

助言を基に自分の意見文を修正し、修正した理由を振り返りにまとめる。

事例の概要

- 集めた情報を用いて、自分の考えとその根拠のつながりを見出し、自分の考えを明確にしていく。さらに、自分の考えと根拠のつながりを、集めた情報を引用したり、意見と情報を書き分けたりして書くことで、筋道の通った文章にすることをねらった授業である。
- 付箋メモ機能や直接書き込まれた助言について交流することで、より説得力のある文章が書けるようにする。

事例におけるICT活用の場面①

- 【追求する】の場面で、端末で共有されたお互いの文章を、推敲の観点に沿って読み合う。
- その際に、学習支援ソフトを活用し、付箋メモ機能を使って助言を書き込む。

事例におけるICT活用の場面②

- 【まとめる】の場面で、修正した理由を付箋に書くことで、身に付けた推敲の観点を自覚できるようにする。

【国語科・小6・「自分の考えを発信しよう」②】

【事例におけるICT活用の場面①】

絶滅しそうな理由は、刺し網やトロール漁などによる混獲で網に引っ掛かり息ができなくて死んでしまうからです。また違法な漁で同じく絶滅危惧種のトドアバを密猟されるときに巻き込まれて網にかかってしまいます。

コガシラネズミイルカが、二千十六年には約三十頭とものすごい勢いで数が減少しています。でも日本財団の資料によると、違法な漁がなくなればコガシラネズミイルカが絶滅する確率がなんと6%に減少するそうなんです。

コガシラネズミイルカぐらい絶滅しても大丈夫だろう。と思っている人がいるかもしれない。しかし、もう数頭しかいない孤独なコガシラネズミイルカたくさんの人知ってほしい。また今すぐ違法な漁をやめてほしいと僕は思います。

○交流する場面では、付箋メモ機能や傍線、囲み等が残っているため、話題にしたいことが可視化され、積極的に交流をすることができていた。

・司会役：「毎週月曜日と木曜日がゴミをすてる日になっています」に線を引いた人？

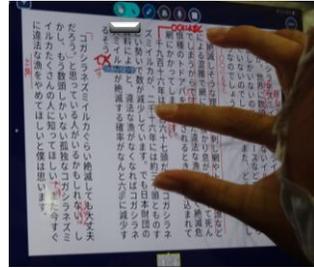
児童A：僕です。こういうのが分かる資料や出典があるといいね。

・司会役：「気に入らないです」に○付けた人？

児童B：はい。もうちょっと柔らかい表現にしたほうがいいと思うよ。

児童C：どんな言葉があると思いますか？

——以降 話合いが続く——



【事例におけるICT活用の場面②】

○修正した理由については、付箋メモ機能で書き込ませることによって児童の思考の流れが分かるようになっていた。

(例) ・引用を書きしていなかったから、「○○の資料によると」を加えた。

・そのほかにもメリットがあると考えられるから、「例えば」を加えた。

<ICT活用の工夫>

○根拠や資料の引用について学ぶ単元のため、文章を作成する段階からICTを活用することで、資料と文章との確認がスムーズにできた。

○文章共有機能を使うことで、複数名が同時に閲覧・記入ができた。

○助言を書き込む際には、「直接直すのではなく手書きや付箋メモ機能を使って書き込む」というルールを徹底することで、遠慮せずに助言を書き込むことができるようになっていた。それだけでなく、元の文章を消してしまったり、同時に編集することでずれてしまったりするといったトラブルの防止にも繋がっていた。

資料で調べただけで引用を書きしていなかったから

そのほかにもメリットはあると思うから

国境を円安を知ってなっている。現在でドルは約百五十円。でも円安とはなんだろうかと。円安を調べたことだけ引用を書きいかなかったから。え、ドルを九十九円で買った。そんな円安にもメリットはある。日本製の品を海外に売りやすくなることだ。日本の製品は日本物・サービスが安くなる。